

令和5年8月22日



担当課	総務企画課
担当者	藤原
電話	(073) 488-5102
内線	

3類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O145）
患者	和歌山市内在住 10代 男性
届出年月日	令和5年8月18日
経過	<p>8月9日（水）発熱、腹痛 8月10日（木）下痢、腹痛 8月12日（土）下痢、血便、腹痛 医療機関受診、検便 8月18日（金）検便の結果 O145 ベロ毒素（+）と判明 主治医から届出</p> <p>現在、症状は治まっています。</p>

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O145）
患者	和歌山市内在住 10代 女性
届出年月日	令和5年8月21日
経過	<p>8月10日（木）発熱 8月11日（金）下痢、腹痛 8月12日（土）下痢、腹痛 医療機関受診、検便 8月21日（月）便検査の結果 O145 ベロ毒素（+）と判明 主治医から届出</p> <p>現在、症状は治まっています。</p>

※なお、上記2件は同一家族内の事例です。

※プライバシーの保護については、十分なご配慮をお願いします。

《参考 本症の発生状況》

令和5年8月21日現在

	和歌山市	和歌山県（市内含む）	備考
令和5年	9名	15名	本患者含む
令和4年	14名（6名無症状者含む）	16名（6名無症状者含む）	
令和3年	3名（1名無症状者含む）	4名（1名無症状者含む）	

- ・腸管出血性大腸菌感染症は、年間を通じて発生する感染症ですが、特に夏季に多いです。
- ・調理の前や食事前、また排便後などには、十分に手洗いをしてください。
- ・食品を十分に加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきる等の注意が大切です。
- ・特に、生肉又は加熱不十分な食肉を食べないようにしてください。
- ・小さなお子さんや高齢者は、感染した場合、発病しやすいので注意が必要です。
- ・腹痛・下痢などの症状がみられた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。